

基礎教育科目[全学共通]

授業科目区分	授業科目名	ナンバーリング* ナンバー	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. 科目の目指す5つの目標:5つの基礎力と本学のDPで目指す能力等					備考
					授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙うとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	
TIUコア科目	大学生活デザイン演習	C-SEM101	演習	2	多様な他者との関わりを通じて、コミュニケーション能力を高め、自分の大学生活をデザインする	大学生活について理解し、さまざまな人のなかで自分の意見を伝えたり、主体的に行動ができる	○	○	◎	◎	◎	
	初年次演習	G-SEM101	演習	2+2	大学での学びの基本を理解し、社会や世界を理解するための基礎力を磨き、仲間を作る	学修スキルと主体的学びの修得、進路・キャリアの理解、責任ある社会人の基礎養成ができる	○	○	○	○	○	
	ICT基礎	G-INF101	実習	2	パソコンの基本操作と情報セキュリティについて理解する	レポーターの作成やプレゼンテーションに役立つ基本ソフトの操作を習得し、情報セキュリティ能力を身につける	◎	○	◎	○	◎	
人間と文化	哲学	G-OHM111	講義	4	世界と自分のあり方について考え、政治や経済のものとなる考え方を知る	人間が世界のなかで存在するということの基本となる考え方方が理解できる	○	○	○			
	倫理学	G-OHM121	講義	4	善悪や不正など社会の仕組みと人のあり方について理解する	実際に社会で出会うさまざまな倫理的な問題に対処できるような基本的な考え方を習得する	○	○	○	○		
	芸術論	G-OHM104	講義	4	社会における芸術について理解し、生活に活かせる芸術の基礎を学ぶ	美術や音楽の体験を通じて、現代社会において芸術がもつ力を理解する	○	○	○			
	文学	G-LIT101	講義	4	文学や映画等を通じて、芸術としての物語のあり方を理解する	文学作品や映像作品を読み解く能力を身につける	○	○	○			
	ことば学入門	G-LNG101	講義	4	人間の思考や文化を形成することはや文字について理解を深める	ことばを客観的に説明することができるようになり、メディアリテラシーの基礎を身につける	○	○	○		○	
	アジア・アラブ史	G-OHM101	講義	4	アジアとアラブの文化や歴史について理解を深める	アジアの歴史を地域のものとしてではなく世界的な規模のものとして再構築できる	○	○	○			
	アメリカ・ヨーロッパ史	G-OHM102	講義	4	アメリカとヨーロッパの文化や歴史について理解を深める	歴史の歴史を流れとして理解し、現代の社会を流れに位置づけることができる	○	○	○			
	日本史	G-OHM114	講義	4	日本の歴史について、幕末以降の近代史を中心として理解を深める	日本の歩んできた道を近代の諸国との関係のなかで理解する	○	○	○			
	地理学概論	G-OHM110	講義	4	自然地理学と人文地理学の両方の観点から、地域について理解を深める	地域固有の自然環境や文化、経済などを総合的に捉えることができる	○	○	○			
	人文地理学	G-OHM108	講義	4	人口や村落、文化や民族、環境などの問題について理解を深める	地域によって異なる生活様式を人口変動や文化等から捉えることができる	○	○	○			
	日本の文化	G-OHM117	講義	4	日本文化を支える日本語について理解を深めることで、文化を捉え直す	日本におけるさまざまな文化に対する理解を深めることができる	○	○	○			
	異文化概論	G-OHM103	講義	4	異文化理解の基礎を学びながら、自分たちの文化への理解も深める	異文化に対する多元的視野や積極的態度を身につける	○	○		○	○	
	文化人類学	G-OHM118	講義	4	人間の生を可能にする多様な文化的・社会的なしくみを理解する	現代世界の多様な人間現象や異文化に対する視点を身につける	○	○	○	○	○	
教養コア科目	Introduction to American Society	G-SOC101	講義	4	To study American culture and society by analyzing traditional and contemporary American values	To demonstrate the knowledge learned through active learning in an individual or group presentation	○	○		○		
	Life & Tradition in America	G-SOC102	講義	4	To gain basic knowledge of American lifestyle and traditions	To become familiar with American lifestyles and traditions through cooperative learning (four-skill activities)	○	○		○		
	法学	G-LAW103	講義	4	社会で役立てるための法學に関する基礎的な知識を修得し、批判的思考の習慣を身につける	社会で起きる様々な法律問題をとりあげ、こうしたトラブルに直面した際の解決方法を考えられる	○	○	○			
	憲法	G-LAW101	講義	4	憲法のしくみを理解し、国家／国民とは何かのテーマを追求することで日本国民としての自覚を持つ	具体的な事件・事例に触れて考察することにより、自分たちの憲法をより深く理解できる	○	○	○			
	政治学	G-POL101	講義	4	様々な異なる政治現象をとりながら、その背後に潜む普遍性・一般理念を追求する	個人と社会の間の政治現象の諸形態を理解し、自分がそれに對していくかに主体的に参加できるかを認識する	○	○	○			
	経済学	G-ECN101	講義	4	経済学の基礎となるミクロ経済学とマクロ経済学について学ぶ	経済行動や経済政策について理解を深め、自分がどのように経済と関係しているかを認識する	○	○	○			
	社会学	G-SOC106	講義	4	社会学の基本的な歴史と概念を学ぶ	社会学の概念を用いて、自分たちの社会を認識することができる	○	○	○			
現代社会	現代の社会	G-SOC104	講義	4	現代社会を分析するための方法とスキルを学ぶ	さまざまな問題を抱える現代社会において、自分が社会とどのように関連しているのかを認識する	○	○	○			
	心理学概論	G-PSY103	講義	4	心理学のさまざまな分野における基本的な概念と流れを学ぶ	心理学の基本的用語について正確な知識を有し、日常の体験を心理学の理論に基づいて捉え直すことができる	○	○	○			
	自然科学概論	G-SCI103	講義	4	自然科学の基礎となる物理的な現象について理解する	音や光、エネルギーなどの科学的知識を理解することができる	○	○	○			
	環境と自然	G-SCI102	講義	4	現代社会における生活環境上の問題を理解する	薬物や温暖化など環境の問題がいかに自分たちの生活と関わっているのかが理解できる	○	○	○			
	科学思想史	G-SCI101	講義	4	社会の発展を支えてきた科学技術とその背景となる科学思想について理解する	科学の発展を歴史的流れの中から捉え直すことができる	○	○	○			
自然科学と環境	統計学入門	G-SCI106	講義	4	統計学における基礎的なスキルを習得することができる	データの見方やまとめ方を学び、基礎的な統計処理ができる	○	○	○		○	
	情報処理の基礎	G-INF102	講義	4	コンピュータのハードウェアやソフトウェアの基本的な理論を理解する	コンピュータが作動する基本的な原理を理解し、情報処理の可能性について認識する	○	○	○			
	健康・スポーツ科学	G-HES101	講義	4	健康科学やスポーツ科学の基本的な理論を理解する	健康やスポーツに関する正しい理解を身につけ、日常生活で実践することができる	○	○	○			

1と ソ	健康・スポーツ実技	G-SPE101	実習	1	スポーツの競技を実践し、その基礎となる理論を理解する	各競技の基本的な理論を理解し、他者との試合などを正しく実践することができる	○	○	◎	◎	◎	
英 語 ス キ ル 科 目	Oral Communication	L-ENG118	実習	2	英語を聞き話すことによる適切なコミュニケーション能力を習得する	英語による日常的な会話に必要なリスニングとスピーキングの能力を実践的に活用できる		○	○	◎	商・経済・国際・人社は履修可	
	Reading & Writing	L-ENG119	実習	2	英語の文章を読み、伝わる英文を書くための基礎的な力をつける	英語の文章を正確に読みだり正しく書いたりすることができる		○	○	◎	商・経済・国際・人社は履修可	
	English Workshop	L-ENG116	実習	2	英語を用いて、あるテーマについて調べ、考え、自分の意見を発表・報告書を作成する。	テーマに沿って情報を検索・収集・分析、英語で報告・質疑応答、ディスカッションができる。	○		○	◎	商・経済・国際・人社は履修可	
	Media English	L-ENG117	実習	2	国際的な報道などで使われる英語を理解し、適切な文化コミュニケーション能力を高める	ニュースやドキュメンタリーなどの映像で使われている基本的な英語の内容と背景を理解することができる		○	○	◎	商・経済・国際・人社は履修可	
	Communication Basic I (注1)	L-ENG107	実習	2	To improve English listening and speaking skills through focused practice in conversation and discussion strategies.	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy.		○	○	◎	言コミ国際経済(BEのみ)履修可	
	Communication Basic II (注1)	L-ENG108	実習	2	To improve English listening and speaking skills through focused practice in conversation and discussion strategies	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy		○	○	◎	言コミ国際経済(BEのみ)履修可	
	English Comprehension I (注1)	L-ENG112	実習	2	To build basic English knowledge for comprehending beginner level narratives and expository texts	To provide students the foundations for increased reading comprehension and speed of reading		○	○	◎	言コミ国際履修可	
	English Comprehension II (注1)	L-ENG113	実習	2	To build basic English knowledge for comprehending beginner level narratives and expository texts	To provide students the foundations for increased reading comprehension and speed of reading		○	○	◎	言コミ国際履修可	
	English Project Workshop	L-ENG132	実習	2	To improve their English language skills through a series of projects that provide meaningful practice	To work in small groups to create and present the projects students are assigned to and build their confidence	○	○	○	○	◎	言コミ国際履修可
	Basic Speaking I (注1)	L-ENG128	実習	1	To develop basic oral communication skills for everyday situations and the academic classroom setting	By effectively working in pairs and groups, to enable students to speak and prepare for presentation		○	○	◎	言コミ履修可	
	Basic Speaking II (注1)	L-ENG129	実習	1	To develop basic oral communication skills for everyday situations and the academic classroom setting	By effectively working in pairs and groups, to enable students to speak and prepare for presentation		○	○	◎	言コミ履修可	
	Basic Writing I (注1)	L-ENG130	実習	1	To improve students' writing ability by introducing parts of speech and sentence structures	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy		○	○	◎	言コミ履修可	
	Basic Writing II (注1)	L-ENG131	実習	1	To improve students' writing ability by introducing parts of speech and sentence structures	To understand English speakers from multiple countries and to communicate effectively, with comfort and accuracy		○	○	◎	言コミ履修可	
	Communication Core I	L-ENG219	実習	2	To expand understanding of written English by moving from the sentence level through the paragraph and into the essay	To recognize and apply correct grammatical forms, as well as their correct production in writing	○		○	○	◎	言コミ国際履修可
	Communication Core II	L-ENG220	実習	2	To expand understanding of written English by moving from the sentence level through the paragraph and into the essay	To recognize and apply correct grammatical forms, as well as their correct production in writing	○		○	○	◎	言コミ国際履修可
	English Production I	L-ENG221	実習	2	To obtain techniques for listening and improve speaking ability	To listen and understand native speakers of English and communicate effectively		○	○	○	◎	言コミ履修可
	English Production II	L-ENG222	実習	2	To obtain techniques for listening and improve speaking ability	To listen and understand native speakers of English and communicate effectively		○	○	○	◎	言コミ履修可
	Intermediate Speaking and Listening A	L-ENG223	実習	2	To teach students key listening and speaking skills for academic situations	To be able to effectively communicate in a business-type setting		◎	○	○	○	
	Intermediate Speaking and Listening B	L-ENG224	実習	2	To use the discourse skills necessary to actively participate in small group discussions focused on academic topics	To be confident and competent to present as individuals and in groups		◎	○	○	○	
	Intermediate Reading and Writing A	L-ENG225	実習	2	To strengthen general reading, vocabulary building and writing skills	To expose to various reading strategies such as scanning, skimming, rapid reading, intensive reading and extensive reading		◎	○	○	○	
	Intermediate Reading and Writing B	L-ENG226	実習	2	To build reading and writing fluency while studying a single academic topic	To learn how to analyze written texts, and how to apply this knowledge in longer writing tasks		◎	○	○	○	
その 他の 外 国 語	ドイツ語入門	L-GMN101	実習	2	ドイツ語の文字と発音を学び、簡単な会話を書い、初步の文法を理解する。	ドイツ語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる		○	○	◎		
	実践ドイツ語	L-GMN102	実習	2	基礎的なドイツ語のコミュニケーション能力を修得する。	初步的なドイツ語を話し、読み、書くことができる		○	○	◎		
	フランス語入門	L-FRC101	実習	2	フランス語の文字と発音を学び、簡単な会話を書い、初步の文法を理解する。	フランス語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる		○	○	◎		
	実践フランス語	L-FRC102	実習	2	基礎的なフランス語のコミュニケーション能力を修得する。	初步的なフランス語を話し、読み、書くことができる		○	○	◎		
	スペイン語入門	L-SPN101	実習	2	スペイン語の文字と発音を学び、簡単な会話を書い、初步の文法を理解する。	スペイン語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる		○	○	◎		
	実践スペイン語	L-SPN102	実習	2	基礎的なスペイン語のコミュニケーション能力を修得する。	初步的なスペイン語を話し、読み、書くことができる		○	○	◎		
	中国語入門	L-CHN101	実習	2	中国語の文字と発音を学び、簡単な会話を書い、初步の文法を理解する。	中国語の基本的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる		○	○	◎		

実践中国語	L-CHN102	実習	2	基礎的な中国語のコミュニケーション能力を修得する。	初步的な中国語を話し、読み、書くことができる			○	○	◎			
ハングル入門	L-KRE101	実習	2	ハングルの文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初步の文法を理解する。	ハングルの基礎的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎			
実践ハングル	L-KRE102	実習	2	基礎的なハングルのコミュニケーション能力を修得する。	初步的なハングルを話し、読み、書くことができる			○	○	◎			
ロシア語入門	L-RSA101	実習	2	ロシア語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初步の文法を理解する。	ロシア語の基礎的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎			
アラビア語入門	L-ARB101	実習	2	アラビア語の文字と発音を学び、簡単な会話を習い、初步の文法を理解する。	アラビア語の基礎的な単語を学習し、簡単な文章を読み、日常の挨拶ができる			○	○	◎			

※ 言語スキル科目は学部（一部学科）により科目が指定されているため備考欄に注記をいれてあります。

（注1）グローバル・コースに登録した学生は履修することができる

基礎教育科目[全学共通]

～つづき～

授業科目区分	授業科目名	ナンバーリング	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. 科目の目標: 5つの基礎力と本学のDPで目指す能力等				
							①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現
言語スキル科目	アカデミック日本語I	L-JPN121	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙いとするか。	幅広い知識・教養・基礎的学修力・理解力	思考力・判断力・課題の発見・分析・解決力	汎用的能力向上・社会への関心・意欲の向上	自主性・積極性・やりぬく力・自己規律の修得	社会人能力: コミュニケーション、チームワーク等
	アカデミック日本語II	L-JPN202	実習	2	読み書き能力の増強を中心とした学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	文字情報の内容を正しく把握し、論点整理ができることに主眼をおいた読み解きと、その内容の要約や批判を含む意見文の作成をおこして、大学の専門学習を求める日本語での読み書き能力の増強を目指す。	◎	○	○	◎	○
	日本語ワークショップI	L-JPN122	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	教科書の他に新書や新聞などの論説文・報告文などを使用し、各自の専門学習の基礎となる語彙表現を習得および専門分野の文章作成を目指す。	◎	○	○	◎	○
	日本語ワークショップII	L-JPN203	実習	2	表現力・コミュニケーション力の増強を中心とした多角的な学習で、母語話者と遜色のない日本語力の習得を目指す。	グループワークの中で、大学生として必要な総合的な日本語の理解力・読解力・聽解力および表現力(発表力・作文力)の向上を目指す。	○	◎	○	◎	○
	ビジネス日本語	L-JPN301	実習	2	日本での就職に必要な日本語力を総合的に修得する。語彙形式授業を行った後、学生はペアやグループで実践練習を行い、発表をする。	「ワークショップ」形式で、ビア学習を重視し、日本語の4技能(話す・聞く・書く・読む)およびコミュニケーション力を磨くことで主体的学習力・協同作業力・思考力などの増強を目指す。	日本での就職に必要な日本語力および入社以降のビジネス・シーンで約にたつような実践的日本語の日本での就職に必要な総合的な日本語コミュニケーション力を目標とする。	○	○	○	◎
キャリア形成支援科目	インターンシップ入門	C-ISP101	実習	2	インターンシップ実習で企業や行政機関・NPOなどにおいて、自らのキャリアに関連した就業体験を行なうための事前学修を実施する。	社会人マナー、コミュニケーション・プレゼンテーション能力向上、エントリーシート作成、ビジネス文書の作成などができるようになる。		○	○		○
	インターンシップ(体験型)(注2)	C-ISP201	実習	1	比較的短期のインターンシップに参加し、企業体験を通じて就職活動への理解を深め、その体験を学業に生かす。	企業で働くとはどういうことか、その企業はどんなところか、業界や業種の仕事はどんなものかなど、具体的に職業を知ることができます。			◎	◎	◎
	インターンシップ(実践学修型)(注3)	C-ISP203	実習	3	実践的な就業体験(例えばプロジェクト型の業務)を通じ、社員と業務を行なうことで、社会人としての様々な能力養成を目指す。	自己の職業適性や将来設計を考え、主観的な職業選択や高い職業意識を育成し、暗黙知から学修する能力を身に付ける。			◎	◎	◎
	ボランティア活動	C-VLT102	実習	1	ボランティア・社会的活動を通じ、コミュニケーション能力向上・社会の在り方の理解の深化等により、自らの学びを高めていく。	社会の仕組みや社会の課題を理解・分析し、課題解決力を高め、コミュニケーション・チームワーク・リーダーシップ等のスキルを実践的に修得する。		○	○	○	
	アカデミック・ライティング	C-LNG101	実習	2	学術的・専門的な内容の英語文章を組み立て、適切な英語表現を用いて、外国人が適切に理解できる英語を記述するための学習を行なう。	英語及び日本語の文獻・資料・データ等を参照・活用し、適切な英語を用いた専門的な文章を組み立て、適切な英語表現で英文を書くことができる。		◎	○		○
	キャリア・Re-スタート	C-SEM201	実習	2	「他者との関わりを通してコミュニケーション力を高め、東京国際大学での大学生活をどう過ごすのかを考える」。自分の行動計画を立て、やるべきことを明確にする。	①積極的に自分の意見を伝えられる。②集団での自分の役割を理解・行動できる。③大学でできることを知る。④大学生活の行動計画を立てられる。				◎	◎
	地域の安全と警察	C-CRE215	講義	2	犯罪や事故などの危険から個人や社会を守るために行政政策について、警察行政を中心としながら、安全な公共空間設計行政などを学ぶ。	警察の現状と職務を理解し、社会の安全と安心を守る行政の役割を理解する。また、就職活動に必要な知識の習得、目的意識を明確化できる。	○	○	○		
自由選択科目	観光まちおこしワークショップ入門	G-PBL104	PBL	2	地域活性化に必要な「観光を活用したまちおこしの基本」をフィールドワークやグループワークを通じて学修する。	1. 観光まちおこしの基本を理解、2. 川越の地域特性・歴史・観光資源を理解、3. 川越の課題を発見、4. 成果発表でチームワーク力を身につける。	○	○		◎	○
	観光まちおこしワークショップ実践A	G-PBL101	PBL	2	大学・地域が一体となり、「まちおこし」を実施する上で重要な知識・スキルをプロジェクト形式で学修する。	1. 地域の課題を把握し、2. まちおこしや地域活性化の方策を考え、3. アイデアを形にする力を養い、4. ホスピタリティマインドをもつ。		○	○	○	○
	観光まちおこしワークショップ実践B	G-PBL102	PBL	2	川越の魅力を発見・整理し、外国人観光客へPRすることを体験するプロジェクト型授業で、情報発信の方法を学ぶ。	1. 川越の魅力・地元産品の特徴を効果的に発信、2. 外国人観光客のニーズを満たすリーフレット等をチームで制作できる。3. 外国人の視点をもとに制作物を完成させる。		○	○	○	○
	観光まちおこしワークショップ実践C	G-PBL103	PBL	2	「小江戸かわごえまちおこし」の企画立案を行い、課題解決思考能力及びコミュニケーション・ファンリーディングスキルをもつグローバル人材の育成を目指す。	1. 「小江戸かわごえまちおこし」の立案・提案能力、2. 地域の課題抽出と課題解決の思考能力、3. コミュニケーションやチームビルディングのスキルを習得。		○	○	○	○
	観光まちおこしプロジェクトA	G-PBL201	PBL	1	「大学生観光まちづくりコンテスト」に参加し、実践的な課題発見力、チームワーク力、プレゼンテーション力を修得する。	次の3能力を養う。(1)全国観光地の課題を発見、(2)課題解決のアイデアを協働学修で具体化、(3)それを提案書にまとめてプレゼンを行う。		○	○	○	○
	観光まちおこしプロジェクトB	G-PBL202	PBL	1	実際の企業や組織・団体と連携し、川越市の観光課題を見える化力を養い、体験プロジェクトを通じて社会人の経験を積む。	次の3能力を養う。(1)川越市の地域活性化策を企業・組織・団体と作成、(2)川越市の魅力発信PR動画作成、(3)観光客向けガイドブック作成等を企業と連携実施する。		○	○	○	○

プロジェクト科目	観光まちおこしプロジェクトC	G-PBL203	PBL	1	観光をテーマに企業や自治体と連携し、実践的なまちづくり、地域づくりをプロジェクト形式で行う。	次の3能力を養う。(1)観光による地域づくりを実践する。(2)自分の意見を述べ議論する。(3)社会人基礎力を修得する。		○	◎	◎	◎
	留学プランニング (ASP Prep)	G-OAR105	実習	1	姉妹校 Willamette University の実施するASP参加希望者に、留学からの学修効果を高めるための準備を行う。	留学での学習・課外活動に取り組むときの心構え、学修方法、コミュニケーション・チームワークスキル等を修得できる。		◎	○	◎	
	海外ゼミナールA	G-OAR201	実習	4	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、現地のフィールドトリップや地元住民との交流により、その国の文化、歴史、国民性などを深く知る。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会・政治等の価値事情に関する生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解を深める。	○	◎	○	○	◎
	海外ゼミナールB	G-OAR202	実習	2	現地の語学学習では、リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を総合的に強化し、教室外での活動を通じ、その国の文化、歴史、国民性などに触れる。	外国語での実践的なコミュニケーション能力を高め、現地の文化・歴史・社会等の生きた知識を獲得し、相手国の総合的な理解に繋げる。	○	◎	○	○	◎
	特別授業A	G-OAR205	講義	2	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Aは、15回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を磨き、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	○	◎	○		
	特別授業B	G-OAR206	講義	4	海外の専門家が各自の専門分野のテーマに関して多様な角度から講義を行い、受講生の視野を広げ、思考力を高める。特別授業Bは、30回相当の授業である。	外国人教員からの指導を受け、グローバルなコミュニケーション能力を磨き、多角的な思考力・判断力を身につけ、自分の意見をまとめて発信できる。	◎	◎	○		○
	スポーツパフォーマンス実習 I (注4)	G-OAR106	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。		○	◎	◎	○
	スポーツパフォーマンス実習 II (注4)	G-OAR107	実習	2	(1)指定強化クラブの活動に主体的・自律的に取り組み、(2)各専門の競技・実技等の技能・実力を鍛錬する過程で自らの実力を高める。	精神力・自己規律・他者を思いやる心などを養い、コミュニケーション力・チームワークスキル・リーダーシップ及び指導力等を修得する。		○	◎	◎	○
	基礎科目特殊講義A	G-OAR101		2	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。15回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設するごとに案内する。					
	基礎科目特殊講義B	G-OAR102		4	特別な目的で、基礎科目分野での特別な授業を行った場合に単位化するための授業科目。30回相当分の科目。	授業の到達目標と達成を目指す能力等については、科目を開設するごとに案内する。					

(注2) 「インターンシップ（体験型）」は、実習時間数に応じて、1～2単位を修得できる。

(注3) 「インターンシップ（実践学修型）」は、実習時間数に応じて、3単位以上を修得できる。

(注4) 強化クラブ所属学生のみ履修することができる。

人間社会学部 福祉心理学科 専門教育分野

授業科目区分	授業科目名	科目コード/ナンバー	ナンバリング	科目種別	単位	1. 科目の目的	2. 科目の到達目標	3. キーワード	6つの目標:5つの基礎力と福祉心理学科のDPで目指すもの					
						授業科目で何を目的に学修し、どのような内容の理解を狙うとするか。	授業での教育・学修を通じて学生がどのような学修成果の達成を目指し、何を到達目標とするか。	学修の参考となる重要なキーワードなど	①知識・理解	②思考・判断	③関心・意欲	④態度・規律	⑤技能・表現	⑥専門性と実践力・応用力
T	教育原理	T-EDU225	200	講義	2	「教育とは何か」に視点を置きながら、教育の理念、思想、歴史等について基礎的な知識を網羅的に学修する。	1・教育の理念や目的を理解している。2・教育の歴史や思想を理解している。3・学校教育や社会教育等に関する基本的事項を理解できる。	教育の理念、教育の目的、教育の思想、教育の歴史、学校制度、生涯学修	◎	○	○			
T	教育相談	T-EDU209	200	講義	2	教育相談を心理臨床学の視点からとらえ、基本的な理論及びその実際を学修するために、多くの事例を取り上げる。	実践的かつ理論的な対応法は、基礎的・体系的な知識を欠くことが出来ないので、心理臨床学に裏打ちされた教育相談の基本を体系的に理解できる。	教育相談、こころの構造、いじめ、アセスメント、カウンセリング、こころの病理、発達失調、登校拒否	◎	○	○		○	○
M	社会福祉概論	M-SWS204	200	講義	4	社会福祉を初めて学ぶ人のために社会福祉の全体像を学修する。	社会福祉の定義や社会福祉のニーズ、社会福祉の様々な分野、関係する主な法律、福祉サービスの種類や内容、社会福祉施設の現状、社会福祉従事者などについて理解できる。	社会福祉の枠組み、社会の変化と福祉、福祉と社会福祉、社会福祉政策と社会政策、福祉の思想・哲学、少子高齢化	◎	○	○		○	○
M	児童福祉論	M-SWS203	200	講義	4	児童と家族の現状と子ども・家庭福祉サービスの実際について学修する	児童や家族の現状と支援の必要性を理解し、それに対する児童福祉の法や制度、施設・機関の機能や専門職員について理解できる。	1子ども們の権利条約 2児童福祉法 3少子化 4児童虐待防止法 5児童相談所 6社会的擁護	◎	○	○		○	○
M	福祉教育論	M-SWS312	300	講義	4	子どもたちをはじめとするいろいろな人が福祉に対する正確で豊かな理解を深めていくための授業の展開方法を学ぶ。	福祉教育の概念と意義、福祉教育の歴史的展開や最近の動向、住民の主体形成と住民参加を理解して福祉教育プログラムを立案できる。	福祉教育、住民参加と主体形成、体験学習、キャンパスのバリアフリー、福祉教育プログラム立案	◎	○	○	○		
M	医療社会論	M-SOC311	300	講義	4	医療の社会的役割や影響力、またその受容について、さまざまな角度からクリティカルに考えていく。	医療社会論において論じられている具体的事柄について考えるための方法とスキルを身につける。	医療社会論、健康と病の経験、病人役割、感染症と社会的排除、優生思想、専門家支配	◎	○	○	○		
T	教育心理学	T-PSY201	200	講義	4	教育場面に關わる心理学として4つの柱（発達、学習、測定・評価、人格・臨床）を中心に学ぶ。教職必修科目。	子どもや保護者の心理、学習や記憶のしくみを理解し、どのように教育評価を行ったり、生徒に接するべきかについて理解を深めることができます。	生涯発達、学習・記憶、教育評価、知能指数、発達障害、カウンセリングマインド	◎	○	○			
T	発達心理学	T-PSY203	200	講義	4	乳幼児期から老年期のこころと身体の発達、各時期で遭遇する問題とそれらへの対処法を学ぶ。	人間発達の特殊性と、乳幼児期から老年期の各段階ごとの発達課題と生じやすい問題、病理の特徴を理解できる。	生涯発達、家族関係、アタッチメント、認知発達、発達障害、介護、虐待	◎	○	○		○	
M	対人関係論	M-PSY207	200	講義	4	対人場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	対人場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深める。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎	○	○	○	○	○
M	社会心理学	M-PSY202	200	講義	4	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学の諸理論から学修する。	多様な社会場面における人間の心理行動を社会心理学的見地から理解するとともに、社会心理学の諸理論に対する理解を深める。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎	○	○		○	○
M	スポーツ社会学	M-HES215	200	講義	4	スポーツが社会の多様な要素とどのように影響を及ぼし合いながら社会の中に位置づいているのかを学修する。	スポーツの一般的な「良いイメージ」にとらわれず、現代社会におけるスポーツの位置、課題等を理解できる。	オリンピック、スポーツとメディア、スポーツのグローバル化、スポーツとジョンダー、ドーピング、スポーツキャリア	◎	○	○		○	
M	スポーツ心理学	M-HES216	200	講義	4	スポーツ活動の意義や効果を心理学的観点から学修することにより、スポーツ活動とより良い生活や人間形成との関わりを知る。	スポーツの実践者として、あるいは指導者として、より効果的にスポーツ活動を展開したり、支援することができる目標とする。	スポーツの心理的効果、運動学習、運動行動の促進、スポーツ指導、競技スポーツ	◎	○	○	○	○	
M	スポーツ・アドミニストレーション入門	M-HES227	200	講義	2	国際スポーツ・アドミニスト레이ターの育成に向けて、スポーツ・アドミニストレーションの視点から基礎的な知識について学修する。	スポーツ外傷とスポーツ障害の予防法、指導者育成、イベントの企画運営能力など、「スポーツ・アドミニストレーション」に関する基本的な知識について理解できる。	スポーツ・アドミニストレーション、国際スポーツイベント、スポーツ医科学、指導者	◎	○	○	○		
M	スポーツウェルネス	M-HES344	300	講義	4	ウェルネスプログラムにより自己の変革の方法を学修し、生活の質（QOL）の向上を追求する。	より良く生きるために、生活習慣を見直し修正していく積極的な姿勢を持つことができる	ウェルネス、健康、よりよく生きる、ウェイトコントロール、身体活動、休養、ライフプランニング	◎	○	○		○	
M	コミュニティースポーツ論	M-HES310	300	講義	4	スポーツと地域の関係性を、振興と地域づくりの観点から理解し、スポーツによる地域づくりの種類と方法、現状と課題を学ぶ。	地域とスポーツの関係が深まってきた背景、その地域づくりの方法、効果、課題を理解し、地域づくりについて意見を持ち実際的な企画をたてられる。	スポーツと地域の結びつき、スポーツイベント、スポーツとまちづくり、地域のクラブとまちづくり	◎	○	○	○	○	
M	スポーツ・アドミニストレーション	M-HES347	300	講義	2	「スポーツアドミニストレーション入門」、「English comprehension IIおよびCommunication basic II」で得た知識を基に、「仮想イベント」を実施することで、将来スポーツ・アドミニスト레이ターとなるべく学修する。	スポーツイベントを実施するための基礎的知識・能力として、①スポーツイベントの理解、②イベントのニーズに即したイベントの企画と準備を身につけ、さらにそれを実施した後に、適切に評価し改善することが出来るよう能力を身に着ける。	スポーツアドミニスト레이ター、スポーツイベント、大学スポーツ振興の推進事業、UNIVAS	◎	○	○	○	○	
M	スポーツ産業論	M-HES346	300	講義	2	スポーツ産業は用品、施設、スポーツクラブ、プロスポーツ、メディアなど多岐にわたる。スポーツ用品産業（事業戦略、マーケティング、生産、販売促進、営業（販売）活動）における基本的な流れを学ぶ。	スポーツ用品産業における基本的な流れを学ぶことでスポーツの職業領域を理解し、自らの目標を明確にしていく。	CSR、開発、スポーツ施設、経営、SDGs、アパレル、広報、プロモーション	◎	○	◎	○	○	◎
M	人間社会学部特殊講義 A	M-OAR314	300	講義	2	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ（15回相当の授業）	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる	主題別	◎	○	○			○
M	人間社会学部特殊講義 B	M-OAR315	300	講義	4	学部の判断で様々な内容に関する講義主題を選び、多様で幅広い観点から学ぶ（30回相当の授業）	講義主題について学んだことを理解し、要点をまとめ、発信できる	主題別	◎	○	○			○
M	地域福祉論	M-SWS217	200	講義	4	地域福祉の基本的考え方、対象、組織・団体等、地域福祉にかかわる問題について知る	地域福祉に関する基本的事項やキーワードを理解し説明できる。	地域、住民参加、福祉教育、住民組織、民生委員・児童委員、ネットワーキング、ボランティア	◎	○	○			
M	公的扶助論	M-SWS202	200	講義	2	生活保護制度に關し、その理念と制度の内容、実施機関である福祉事務所の現状と課題等への理解を深める	国民的最低限（ナショナル・ミニマム）を制度的に理解し歴史をふまえた上で現在の生活保護法を理解する。また、貧困を多様な側面から考察できる。	貧困、救貧制度、ナショナルミニマム、生活保護法、公的扶助、現代の貧困	◎	○	○			
M	老人福祉論	M-SWS218	200	講義	4	介護保険制度について知る	介護保険制度の成立過程と概況、現状と課題について理解し、実践に活用できる。	高齢者、介護保険法、認知症ケア、介護サービス、終末期ケア	◎	○	○			
M	障害者福祉論	M-SWS205	200	講義	4	国連の障害者の権利条約、国際生活機能分類（ICF）を通じて、障害者福祉に対する基本的な姿勢、概念枠組みを理解した上で日本の障害者福祉の現状と課題を検証する	福祉専門職にとって必要な、障害者福祉に関する諸理念や法制度を理解し具体的に活用するための力を養う	障害者の権利条約、2障害者総合支援法、3身体障害者福祉法、4知的障害者福祉法、5精神保健福祉法、6発達障害者支援法、7障害者虐待防止法	◎	○	○			
M	介護概論	M-SWS201	200	講義	2	現在の日本社会が直面している超高齢社会の現状、高齢期というライフステージの特性、高齢者の生活を支える制度や専門職、認知症ケアや終末期ケアにまつわる課題等を学ぶ	先進諸国社会における高齢化の現状、高齢期というライフステージの特性、高齢者の生活を支える制度や専門職などの社会資源について理解を深め、今後の超高齢社会のあり方について自分なりの考えを展開することができる。	介護保険制度、ライフステージ、居宅サービス、施設サービス、地域包括支援センター、高齢者虐待防止法	◎	○	○			
M	相談援助の基盤と専門職	M-SWS214	200	講義	4	社会福祉士が行う相談援助について、その意義や役割について学修する。	ソーシャルワーカーの理論を知り、その理論に基づく支援方法を理解し、実践に活用できる。	相談援助、倫理綱領、相談援助職、予防的機能、権利擁護、社会資源開発	◎	○	○			
M	相談援助の理論と方法 I	M-SWS215	200	講義	4	相談援助の理論と方法について学修する。	ソーシャルワーカーの理論を知り、その理論に基づく支援方法を理解し、実践に活用できる。	相談援助、人と環境との交互作用、援助関係、アウトリー、アセスメント、モニタリング	◎	○	○			○
M	相談援助の理論と方法 II	M-SWS216	200	講義	4	相談援助に關わる様々な方法・理論について相談援助の様々な実践モデル・アプローチについて学ぶ。	多様な社会福祉領域のソーシャルワーカーの実践事例を用いて、具体的な実践内容との関わりで理論を理解できる。	ケースマネジメント、コードネイシヨン、ネットワーキング、スーパービジョン、コンサルテーション、ケースカンファレンス	◎	○	○			○

M	相談援助演習 I	M-SWS213	200	演習	2	社会福祉士に求められる基本的な相談援助に係る知識と技術について、演習方式で実践的に学ぶ	相談援助について専門的援助技術として概念化し、理論家し、体系立てで行くことができる能力を涵養する。	コミュニケーション技術、インテーク、アセスメント、プランニング、モニタリング、効果測定、自己覚知		◎	○	○	○	◎	◎
M	精神保健福祉相談援助の基盤（基礎）	M-SWS209	200	講義	2	精神保健福祉士の役割について学修する	精神保健福祉士の役割について理解できると共に相談援助の概念・理念を理解できる。	ソーシャルワーク、専門性、理念、価値、権利擁護、倫理綱領	◎	○	○			○	
M	精神保健福祉に関する制度とサービス	M-SWS210	200	講義	4	精神障害者の支援に関する制度及び福祉サービスの知識と支援内容を学修する	精神保健福祉法や、精神障害者の福祉制度・社会保障制度の概要を理解し、相談援助に係る専門職や団体との協働について理解できる。	精神保健福祉法、精神病者監護法、障害者総合支援法、精神障害者の福祉サービス、医療観察違法、精神保健參與員	◎	○	○				
M	精神障害者の生活支援システム	M-SWS207	200	講義	2	精神障害者の生活支援の意義と特性、相談援助活動について学修する	精神障害者の概念、生活の実際、人権、居住支援、就労支援、生活支援システムについて理解できる。	社会的入院、「生活のしづらさ」、雇用・就業、地域生活支援モデル、居住支援、ソーシャル・サポート・ネットワーク	◎	○	○			○	
M	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 I	M-SWS211	200	講義	4	精神医療の特性や、精神科リハビリテーションの知識・技術及び活用方法について学修する	精神科リハビリテーションの概念と構成プロセス、チーム医療について理解できる。	精神科リハビリテーション、チーム医療、ACT、OJT、治療モデル、生活モデル	◎	○	○			○	
M	精神保健福祉の理論と相談援助の展開 II	M-SWS212	200	講義	4	精神障害者の支援モデルについて学修する	相談援助の支援モデル、援助関係、プロセス、面接技術、地域における包括的支援について理解できる。	相談支援事業、ケアマネジメント、アウトリーチ、地域移行・定着支援、ネットワーキング、自立支援協議会	◎	○	○			○	
M	人権擁護と就労支援	M-SWS206	200	講義	4	社会福祉士・精神保健福祉士として相談援助の行うたために必要な対象者の人権擁護、更生保護、就労支援について学修する。	社会的排除を受けがちな高齢者・障害者・更生保護の対象者等への権利擁護及び「就労する権利」保障のための社会福祉施策の概要と、相談援助活動を理解し、実践に活用できる。	社会的排除、権利擁護、成年後見制度、更生保護、医療観察法、雇用・就労支援	◎	○	○				
M	医学一般	M-SWS301	300	講義	4	医療や福祉の場において必要とされる医学の基礎知識を学ぶ。	臨床医学の各分野、体の構造と機能、現代社会における代表的な疾患、リハビリテーションなどの概略を理解できる。	心身の成長と発達、老化、生活習慣病など疾患の種類、発達障害などの障害の概要、リハビリテーション他	◎	○	○			○	
M	相談援助実習	M-SWS310	300	実習	6	社会福祉のサービスの実際と社会福祉士の果たす役割を学習する。	社会福祉士として備えなければならない能力を、実習により習得し、実践に活用できる。	社会福祉士の倫理、社会福祉士の技能、相談援助、実習指導者、自己覚知、実習評価		◎	○	◎	◎	◎	◎
M	相談援助実習指導	M-SWS311	300	演習	3	相談援助実習の意義、目的と実習の学び方を理解し、実習後の成果を確認する	講義・演習で学んだ知識・技術を福祉現場で活用し、社会福祉士としての能力を涵養できる。	社会福祉士の役割、実習、実習計画、実習記録、スーパービジョン、実習報告会		◎	○	◎	◎	◎	◎
M	精神保健福祉援助演習（基礎）	M-SWS306	300	演習	1	精神保健福祉士に求められる相談援助の知識と技術を概念化・理論化する	自己覚知・面接技術・グループダイナミクスの活用・課題の発見・分析・解決の技法の習得できる。	援助態度の形成、自己覚知、コミュニケーション技術、面接技術、介入技術、記録・評価		◎	○	○	○	○	○
M	精神保健福祉援助演習（専門） I	M-SWS307	300	演習	1	総合的かつ包括的な相談援助や、医療との協働・連携に関する相談援助の概念を理論化・体系化する	社会的排除、退院支援と地域移行、ピアサポート、自殺・ひきこもりなどの事例を通して、相談援助について実践的に習得する。	アセスメント、プランニング、社会資源の活用、社会資源の調整、社会資源の開発、スーパービジョン・コンサルテーション		◎	○	○	◎	◎	◎
M	精神保健福祉援助実習指導 I	M-SWS308	300	実習	1	実習の意義を理解し、相談援助の実践的な技術等を体得する	精神保健医療福祉に関する基本的な理解や、職業倫理・法的責務、プライバシー保護などについて理解できる。	実習と実習指導の意義、実習生としての態度、スーパービジョン、職業倫理、プライバシー、法的責務		◎	○	◎	◎	◎	◎
M	福祉政策論	M-SWS313	300	講義	4	福祉行政財政と福祉計画、及び福祉サービスの組織と経営について学ぶ	社会福祉士・精神保健福祉士業務に不可欠なレベルで当該科目を理解できる。	社会福祉行政、財政、福祉計画、供給主体、社会福祉法人、医療法人、特定非営利法人	◎	○	○				
M	医療福祉論	M-SWS302	300	講義	4	医療分野で働くソーシャルワーカーの機能や役割について学ぶ	保健医療サービスの概要・特徴の理解及び対象者の支援計画ができる。また、連携・チームアプローチの重要性を考察できる。	医療福祉、医療法、医療保険制度、介護保険制度、介護サービス、地域包括ケアシステム	◎	○	○				
M	社会保障論	M-SWS304	300	講義	4	ソーシャルワークに必要な社会保障制度における社会資源について学ぶ	社会福祉士・精神保健福祉士業務に不可欠なレベルで当該科目を理解できる。	社会保障、社会保険、公的保険、民間保険、年金、健康、介護保険	◎	○	○				
M	社会福祉調査論	M-SWS303	300	講義	2	社会福祉士が行う社会調査に関する知識・技術を習得する。	(1)社会調査の意義と目的及び方法の概要 (2)統計法の概要、社会調査における倫理や個人情報保護(3)量的調査の方法及び質的調査の方法について理解できる。	社会調査、統計法、調査における倫理、個人情報保護、量的調査、質的調査	◎	○	○				
M	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）	M-SWS309	300	講義	2	相談援助の対象や権利擁護、多職種連携の意義を学修する	相談援助の基本的考え方や対象、専門職、権利擁護、多職種連携について理解できる。	相談援助、専門職、多職種連携、総合的・包括的な援助、精神保健福祉士の役割、精神保健福祉士の機能	◎		○			○	
M	福祉セミナー I A	M-SWS314	300	講義	2	社会福祉系国家資格取得のための基礎的な事項を学ぶ	社会福祉系国家資格取得に必要な科目に関する基礎的な学力を身につける。	社会福祉系国家試験、社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、共通科目、専門科目	◎		○				
M	福祉セミナー I B	M-SWS315	300	講義	2	社会福祉系国家資格取得のための基礎的な事項を学ぶ	社会福祉系国家資格取得に必要な科目に関する基礎的な学力を身につける。	社会福祉系国家試験、社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、共通科目、専門科目	◎		○				
M	福祉セミナー I C	M-SWS316	300	講義	2	社会福祉系国家資格取得のための基礎的な事項を学ぶ	社会福祉系国家資格取得に必要な科目に関する基礎的な学力を身につける。	社会福祉系国家試験、社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、共通科目、専門科目	◎		○				
M	相談援助演習 II	M-SWS405	400	演習	3	相談援助演習 I・相談援助実習の学びを統合し、社会福祉士としての資質を高める	社会福祉士としての専門性と実践力を身に着け、卒業後の進路を決定する。	面接技術、社会福祉士の倫理、連携、チームアプローチ、ネットワーキング、社会資源	◎	○	○	○	◎	◎	◎
M	精神保健福祉援助演習（専門） II	M-SWS401	400	演習	1	相談援助における個別導・集団指導について、概念を理論化・体系化する	実習後において、相談援助に係る知識・技術について体験を一般化し、実践的な知識と技術として習得する。	インテーク、契約、アセスメント、プランニング、介入、モニタリング、効果測定	◎	○	○	○	◎	◎	◎
M	精神保健福祉援助実習指導 II	M-SWS404	400	実習	2	実習の意義を理解し、精神保健福祉士に求められる資質・技能・倫理等を体得する	「実習記録ノート」の記録内容・記録方法、相談援助に係る専門的知識と技術に関する理解を深める。	実習と実習指導、対象者理解、法的責務、職業倫理、プライバシー、スーパービジョン、実習記録		◎	○	◎	◎	◎	◎
M	精神保健福祉援助実習	M-SWS402	400	実習	7	実習を通して、精神障害者の生活実態を把握し、総合的に対応できる能力を習得する	精神科医療機関で急性期の患者及びその家族への相談援助や、日常生活上の問題に関する相談援助を習得する。地域事業所で、地域生活上の問題に関する相談援助を習得する。	受診援助、療養援助、地域移行支援、地域生活支援、チームアプローチ、多機関連携、職業倫理・法的責務	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
M	精神保健福祉援助実習	M-SWS402	400	実習	5	実習を通して、精神障害者の生活実態を把握し、総合的に対応できる能力を習得する	精神科医療機関で急性期の患者及びその家族への相談援助や、日常生活上の問題に関する相談援助を習得する。地域事業所で、地域生活上の問題に関する相談援助を習得する。	受診援助、療養援助、地域移行支援、地域生活支援、チームアプローチ、多機関連携、職業倫理・法的責務	◎	○	○	◎	◎	◎	◎
M	福祉セミナー II A	M-SWS406	400	講義	2	社会福祉系国家資格取得のための事項を学ぶ	社会福祉系国家資格取得に必要な各科目に関する学力を身につける。	社会福祉系国家試験、社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、共通科目、専門科目	◎		○				
M	福祉セミナー II B	M-SWS407	400	講義	2	社会福祉系国家資格取得のための事項を学ぶ	社会福祉系国家資格取得に必要な各科目に関する学力を身につける。	社会福祉系国家試験、社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、共通科目、専門科目	◎		○				
M	福祉セミナー II C	M-SWS408	400	講義	2	社会福祉系国家資格取得のための事項を学ぶ	社会福祉系国家資格取得に必要な各科目に関する学力を身につける。	社会福祉系国家試験、社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験、共通科目、専門科目	◎		○				
M	心理学研究法	M-PSY203	200	講義	4	心理学で工夫してきた「こころ」研究の代表的な方法である実験法、調査法などを学ぶ	心理学の研究方法を理解し、「こころ」に関する疑問を解決する方法がイメージできるようになる。	心、実験法、調査法、観察法、検査法、面接法	◎	○		○	○	○	○
M	心理学統計・解析	M-PSY204	200	講義	4	心理学が基本的に用いる統計手法（記述統計学および推測統計学）を学ぶ	データの読み方および種々の統計手法を理解できるようになり、得られた差が統計的に意味のある差なのかどうかを判断することができる。	代表値、有意差、相関係数、t検定、カイ2乗検定、分散分析、因子分析	◎	○				◎	
M	組織コミュニケーション論	M-PSY206	200	講義	4	社会心理学、特に人間関係とコミュニケーション、言語行為に関連したテーマを取り上げる	コミュニケーションの諸問題を解決するための学際的な教養を身につける。多様な視点から自分自身のコミュニケーションスタイルを理論的・分析的に反省できる。	社会心理学、コミュニケーション、説得、リーダーシップ、ゲーム理論	◎	○			◎		

M	青年心理学	M-PSY205	200	講義	4	青年期の身体の発達、心理的変化、人間関係、現代の青年の特徴、青年期に生じやすい病理や問題を学ぶ	人間発達の特殊性と、乳幼児期から老年期の各段階ごとの発達課題と生じやすい問題、病理の特徴を理解できる。	生涯発達、家族関係、アタッチメント、認知発達、発達障害、介護、虐待	◎	○	○			
M	人格心理学	M-PSY209	200	講義	2	人のパーソナリティや性格などの「その人らしさ」や個人差および人格検査について学ぶ。	パーソナリティの形成、分類、研究法、パーソナリティが人間関係に与える影響について理解できる。	人格、パーソナリティ、個人差、人格検査	◎	○	○	○	○	
M	臨床心理学	M-PSY208	200	講義	4	人の「こころ」についての基本的学問である臨床心理学の諸領域について学修する	人の「こころ」の構造、人の成長過程を理解し、人間関係がどのように形成、維持されるかを理解できる。	こころ、成長過程、心理的援助法、心理検定	◎	○	○	○	◎	
M	カウンセリング	M-PSY201	200	講義	4	相談業務全般という考え方から、心理治療の技法を含む専門的な考え方まで学ぶ	人の話をしっかりと聞いて、できれば、相手が変化するような働きかけができる。	ケースフォーミュレーション、インテイク、カウンセリングの諸技法、解釈、終結	◎	○		○	○	○
M	精神保健学	M-SWS208	200	講義	4	精神の健康についての基本的考え方と精神保健福祉士等専門職の役割について	精神の健康と、精神の健康に関連する要因及び精神保健の概要を理解できる。	精神保健、ストレス、ライフサイクル、うつ、過労自殺、依存症	◎		○			
M	実験心理学	M-PSY302	300	講義	4	実験心理学の基本的な考え方を学び、感覚・知覚、学習、認知等の領域における成果を概観する	実験心理学の目的、方法や知見を理解し、「こころ」に関する疑問を解決する方法がイメージできる。	心、実験、感覚・知覚、学習、認知	◎	○		○	○	○
M	産業・組織心理学	M-PSY301	300	講義	4	職業場面における人間の心理行動を産業・組織心理学の諸理論から学修する	職業場面における人間の心理行動を産業・組織心理学的見地から理解するとともに、産業・組織心理学の諸理論に対する理解を深めることができる。	思考力、知識の理解、専門知識、基礎的学修、当該領域への関心、批判的思考力、自律性	◎	○	○		○	○
M	福祉心理学	M-PSY310	300	講義	4	福祉領域における心理学の問題や問題解決に必要となる心理学の知見を学ぶ	日常生活の問題を心理学の立場で考え、障害・高齢支援の基礎を身につけて実際の支援に役立つことができる。	福祉、障害支援、高齢支援、ICF、QOL、バリアフリー、ユニバーサルデザイン	◎	○		○	◎	○
M	障害者（児）心理学	M-PSY304	300	講義	4	障害者（児）の心理的特性に関する基礎的な知見と生活機能を高める支援や援助の方法を学ぶ	ICFと様々な障害の心理的特性を理解できる。支援について理解し、適切な支援ができる。	心理特性、障害、ICF、支援、身体障害、発達障害	◎		○	○	○	○
M	心理療法	M-PSY308	300	講義	4	心理療法の場において、人間の心がどのように変容していくかを、学修する	心理療法における変化のプロセスを、箱庭、遊び、描画、夢、語りなどを通じて、具体的に理解できる。	イメージ表現、トラウマ、箱庭、セラピスト・クライエント関係、心の物語、親子関係	○		○	○	○	◎
M	児童の心理臨床	M-PSY303	300	講義	4	子供にかかる基本的な臨床的問題を、乳幼児から学校臨床まで毎回ひとつずつ考えていく	臨床場面で子どもと出会ったとき、その子どもの発達や心理状態に合わせて、接することができる。	愛着、不安、恐怖症、発達障害、不登校、いじめ、適応障害、学校臨床	◎	○	○			○
M	精神分析学	M-PSY309	300	講義	4	精神分析学における基礎的な理論とその特徴、精神分析的精神発達論、精神病理学を学ぶ。	精神分析学、精神分析的精神発達論、精神病理学の内容を自分の言葉で表現できる。	無意識、自我の働き、心の発達、アイデンティティ、自己愛、対象喪失、心の病	◎	○	○			
M	精神医学	M-SWS305	300	講義	4	代表的な精神疾患について本人や家族の支援の視点から学修する	精神疾患総論や治療、人権擁護、精神科医療機関における治療構造を理解できる。	精神疾患、神経症、統合失調症、気分障害、ストレス関連障害、依存症、薬物療法とリハビリテーション	◎		○			
M	心理検査法実習	M-PSY307	300	実習	4	心理検査の基礎理論と各種の心理検査の成り立ちを知り、適切な利用法について体験を通して学習する	心理検査の基礎理論を理解し、各種の知能検査とパーソナリティ検査について、その成り立ちと適切な利用法について理解できる。	心理検査、臨床心理学、心理アセスメント、心理的援助、知能検査、質問紙法、投影法						
M	心理学基礎実験	M-PSY306	300	実習	4	知覚・認知・対人関係など基礎的な課題を行い、実験を理解し、レポートの書き方を身につける	心理学実験に関する基礎的な知見を身につけ、実験レポートを作成することができる。	心理学、実験、研究法、心理統計、実験レポート		○		○	◎	◎
M	心理学英書講読	M-PSY305	300	実習	4	心理学関連の英語を読むことで、心理学をさらに学ぼうとするうえで必要な英語の読解力を身につける	一般心理学、臨床心理学関連の英語文献を読解し、理解できる。	心理学英語、英語講読、一般心理学、臨床心理学	◎			○	○	◎